

日光の代表として君臨する山 男体山

実施日 2015年6月20日(土)
 天候 曇りのち雨
 リーダー 瀧澤 きよの
 参加者 伊藤久雄、白石恵美子、石附智江、中村友子、瀧澤きよの、石附恵理子 計6名
 費用 電車2,720円 車2,300円 バス1,150円 計6,170円
 タイム 東武日光駅(8:25~8:30)二荒山神社(9:03~9:20)三合目(9:50~10:03)五合目(10:53~10:53)八合目(11:33~11:43)男体山頂(13:20~14:00)七合目(15:00)二荒山神社(16:33~17:12)東武日光駅

20日~21日男体山~太郎山縦走が連日の梅雨空での天気予報で、20日降水確率40% 21日70%しかも20日午後から雷注意報も。止む無く男体山日帰り山行に変更しました。集合時間を1時間繰上げ東武日光駅8時30分にして実施しました。

できるだけ、早く男体山頂に登頂し、スコールに合わずにと、駅前にずらりと並んだタクシー2台に乗り二荒山神社へ。山の頂はガスっています。天気予報通りか。30分で二荒山神社到着。

支度をして二荒山神社本殿脇の登拝口で500円を払いお守りを頂き登山計画を提出していざ出発。



立派な境内の中、真ん前の鳥居をい通って行く。いきなり急登の階段。しかも段が高い。一合目標識あり。さらに

待ちに待った急な登りとなります。会の皆さんに急な登りが永遠と続くかと言われ、男体山特訓のせい、こんなもんかな?と思いきや、治山工事用の車道に出る。やれやれ和気合い話ながら行く。と四合目の標識あり。避難小屋あります。樹森帯の山道をふと振り向くと、眼下に中禅寺湖、若葉が美しい元気づけられます。

五合目辺りから、六合目、七合目岩石登り。昨日までの雨で滑やすいかと、思

ってたが、思ったより滑らず、下りを気をつけなくては。

岩石には赤、白の→印。ロープが所々張られ、一本道ただ登ります。

八合目の滝尾神社の鳥居が見えて

来ました。避難小屋もあります。登り始めると上の方から『初めて登る人は、胎内くぐりを潜らないと、男体山の奥さんを祭ってあるから』そう言われたらくぐらねば、大急ぎで少し下り可愛いに手を合わせ、我が、こぶし会は鎖がある2位の岩を登り右の方に大きな木の空洞を潜りぬけ、これでもっと運氣も上がり、女の方は美しく、男の方は雄々しく、?。



山頂はもう少しだ。土のう袋が階段状に整備されて、九合目から弥蛇ヶ原迄赤土のガレ場です。意外と雨が降

ったせいか、滑り難いので、良かった。

山頂直下からパラパラと雨。予報通り。皆、雨具を装着。ザーザー雨、しかも曇っぽい。約七分。山頂。避難小屋に逃げ込み。遅い昼食です。本来なら志津非難小屋での夕食である、鶏もも肉をがぶり。これがまたスモーク味で美味しいんだから。食べる、食べる、こぶし会。

前に居る三十代の三人の男性の『良い匂いだ。おかん達良く食べますね。元気ですね』少し呆れ顔。

昼食を済ませ、外へ、雨は止んでいる。前に太郎山。青空が出始めた。安心してられない。写真を撮り。下山。降ったり、止んだり。下りは得意なこぶし会。早い早い。慎重に滑らないように。八合目、鳥居に着き、手を合わせまだ続く下りをお願いし、四合目車道に出て、一息入れ。

もう少しの下り。二荒山神社が見えました。雨具を脱ぎ支度をし、中禅寺湖前鳥居の側のバス停から東武日光駅に。

梅雨の中参加下さいました方々、今日の為に特訓して頂きました、リーダーの方々ありがとうございました。

(記・瀧澤 きよの)

(写真提供・伊藤 久雄)